



わたしたちの願い
広い心
強い体
篤き志

令和4年1月発行 第33号

県立南薩少年自然の家

穏やかな正月が過ぎ、今年は幸先のよいスタートだ...と思った矢先、コロナウイルス感染症の第6波が押し寄せてきています。

「またか...」と減入る気持ちにはなりますが、利用して下さる方々のことを思いながら、主催事業や受け入れの準備も職員一丸となって進めています。併せて、今年度のまとめ、次年度の準備も計画的に進めているところです。

「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。」という言葉に出会いました。今まさに、私どもの施設は「何も咲かない寒い日」なのかもしれません。しかし、今を様々な準備ができるありがたい時間と捉え、これまでの事業やプログラム等を見直し、さらによりよいものを県民の皆様へ提供できるよう、基礎を固めていきたいと思っています。

梅の開花も宣言されました。所内の桜の花芽も少しずつ膨らみかけています。春はもうそこまで来ています。

春の訪れと、利用して下さる皆様の笑顔の思い浮かべながら、感染症が早く収束に向かうよう、願う毎日です。

所長 中村 智子

11月27日～28日 なんさつどきどき探検隊

小学校1・2年生を対象に開催した「なんさつどきどき探検隊」。

1日目は、5つのアクティビティにチャレンジする「なんさつどきどきアドベンチャー」を行いました。友達と協力してアクティビティを重ねる毎に活動班の友達と仲良くなりました。夜は、初めての体験「ソロテント」での宿泊でした。家族と離れての宿泊でしたが、昼間の活動でたくさん体を動かしたためか、消灯後は、みんなぐっすり眠っていました。

2日目は6時に起床。寝具を片付け、万之瀬川で朝日ウォッチングをしました。カワウの大群や東の空から昇る朝日に大きな歓声があがりました。気持ちよく朝を迎えたことで、テントの片付けの動きは軽く、時間内に終わることができました。最後に、思い出を形にと自然の素材を生かしたかべ掛けを作りました。

「やればできる」、自信をつけた2日間でした。



12月18日(土) 鹿南少わくわくホリデー2「クリスマスリースを作ろう」

本所の周辺には、リースの素材となる自然物がたくさんあります。31人の参加者は、まず、理想のクリスマスリースを作るために、モミジバフウや松ぼっくり、ツバキの実の殻などの採集に出発しました。自然散策の後は、親子での会話を楽しみながら思い思いの飾り付けをしました。クリスマスは、素敵なリースが彩りを添えたことでしょう。



12月18日(土) 鹿南少わくわくホリデー3「お正月飾りを作ろう」

親子で稲わらを編んでしめ縄を作り、紙垂(して)や水引などで飾り付けをしました。全て手作りする中で、手作りのよさや楽しさ、作品が完成したときの達成感を感じていただきました。なかでも、しめ縄作りと水引作りは、参加者にとって難しかったようですが、親子で力を合わせて縄を編んだり、職員のサポートをもらったりしながら、素敵なお正月飾りを完成させることができました。



3月の主催事業



期 日	事業名	対 象
3月 6日(日)	なんさつ春フェスタ	どなたでも

※ 「まるごと自然の家in指宿(2月5日)」、「まるごと自然の家in南九州(2月23日)」については、コロナウイルス感染拡大防止のため、中止させていただきます。

コロナウイルス感染拡大が収まることを願いながら、準備を進めています。そのときは、ぜひ遊びにきてください。

〈問い合わせ先〉 県立南薩少年自然の家
〒899-3404 南さつま市金峰町高橋3252
(電話) 0993-77-2500
(FAX) 0993-77-1929
(HP) <http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/nansatsu/>



【鹿南少マスコット】
べがちゃん

【HP】